

【構想の名称】(タイプB-I)

修士課程国際共同大学院の創成を目指す先駆的日米協働教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

本プログラムの目的は、我が国の工学系修士課程学生に国際的なレベルの高い教育に接する機会を与えて、英語力の増強や研究意欲の向上、世界的な視点からの研究課題の提案力の養成を実現することである。また、新たな国際履修モデルの提案により、修業年限、就職活動などに影響を与えることなく、世界展開力を備えた若手研究者・技術者を育成する。

【構想の概要】

修士課程国際共同大学院の創成を目指し、名古屋大学大学院工学研究科と米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)およびミシガン大学大学院工学研究科が国際協働教育を実施する。毎年40名程度の大学院修士課程の学生交換留学を推進すると共に、短期から中期の教員派遣・招聘を行い、日米の両地で同時に実施する国際・学際教育プログラムを新たに構築することにより、国際共同大学院の創成基礎を構築する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

本プログラムでは、日本の「ものづくり」の中心に立地する名古屋大学の長をを活かした魅力ある修士課程国際協働教育を実施する。UCLA及びミシガン大学との緊密な連携により、共同プログラム内の大学間の単位の相互認定を実現すると共に、成績管理、学位授与の共同実施を図る。また、本プログラムの実施を通して日米両方の各研究チーム間の共同研究を促進し、各分野の世界に発信できる先端研究拠点を形成する。

○ 短期交流コース(1ヶ月～3ヶ月)

派遣:UCLA、ミシガン大学の教授陣および名古屋大学派遣教員による特別集中講義および英語力養成授業を受け、相互認定可能な6単位を取得する。

受入:取得できる6単位を相互的に認定する。UCLA、ミシガン大学を中心とした国内外からの工学研究科の第一線で活躍している教員・研究員を招いて、英語による集中講義を実施する。同時に日米の学生による共同研究を実施する。

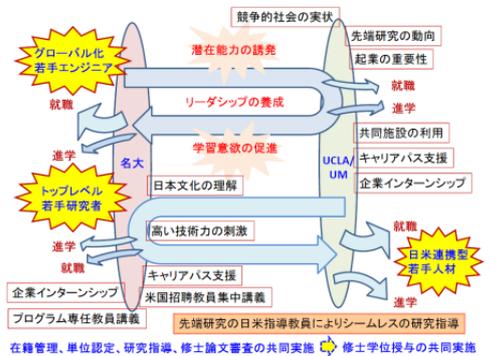
○ 中期交流コース(3ヶ月～6ヶ月)

派遣:UCLA、ミシガン大学に学生を派遣し、最大10単位を取得する。両校の教授陣による授業、共同施設の利用など米国の特色ある充実した教育支援を受ける。

受入:セミナー単位の取得や名古屋大学の教授陣による研究指導、研究施設の共同利用など、名古屋大学の特色ある充実した研究支援を受ける。

○ 長期交流コース(9ヶ月～12ヶ月)

派遣・受入:派遣大学において、セミナー単位の取得、研究施設の共同利用、キャリアパス支援など、各大学の特色ある充実した研究支援を受ける。共同修士論文審査会を開催し、研究指導および単位の認定を行う。



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

○ 平成23年度

UCLA、ミシガン大学において、研究発表、大学・研究所訪問からなる学生ワークショップ(名大生37名、アメリカ学生・教員合計約100名)を開催した。また、合計12人の教員派遣・招聘を行い、本プログラムで目指す国際教育プログラムの構築に関する意見交換を行った。

○ 平成24年度

夏季学生交換留学に当たり、「震災復興とエネルギー」をテーマとした特別プログラムを実施する。国内外の著名な研究者による集中講義と研究教育を行う。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ **日本人学生の派遣:**5年間の短期・中期・長期交流コース及び定期ワークショップを通じて、計245名の名古屋大学学生を派遣する。

○ **外国人留学生の受入れ:**計146名のアメリカの大学からの学生を受け入れる。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	37	46	47	55	60
学生の受入	0	29	32	40	45

注)H23は実績、H24以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ **派遣:**留学中の日本人学生が学業に専念できるように、バックアップを受ける現地サポート体制をプログラムを通して確立する。日本側からも留学に必要な情報提供やインターネットを通じた相談窓口をさらに充実させ、万全の体制を整備する。

○ **受入:**指導教員の配置、教育支援員・TA等の配置、履修指導、学内外での諸手続き支援、カウンセリング、学内各種資料の翻訳、宿舍の借り上げ、就職支援などの支援体制を整備する。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 遠隔国際教育の充実

本プログラムでは、より多くの修士課程学生が大学教育の国際化の魅力を感じ体験できるため、ICTを駆使した遠隔国際教育を充実することにより、実施大学の学生だけではなく、他大学の学生も本プログラムへの参加を可能にする。

○ プログラムの成果の公開

本プログラムの成果についても積極的に公開する。特にプログラムの活動状況や随時行われる海外の著名な講師の講義・講演内容について、随時ビデオライブラリーなどを作成し、内外から広くウェブアクセスできるようにする。

Student Workshop at UCLA (2012.3.8-9)

